

# 令和元年度 国道168号防災検討会(第1回) 議事概要

1. 日 時 令和元年12月4日(水) 13:00~15:00

2. 場 所 近畿地方整備局 奈良国道事務所 会議室

## 3. 出席委員

委員長	<small>おきむら たかし</small> 沖村 孝	一般財団法人 建設工学研究所 代表理事(神戸大学名誉教授)
	<small>つなき りょうすけ</small> 綱木 亮介	一般財団法人 砂防・地すべり技術センター 総括技師
	<small>ましも ひでと</small> 真下 英人	一般社団法人 日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所長
	<small>はら ひさや</small> 原 久弥	国土交通省 近畿地方整備局 奈良国道事務所長
	<small>まつだ ひろゆき</small> 松田 浩之	奈良県 県土マネジメント部 道路政策官(道路建設課長事務取扱)

## 4. 議 事

### (1) 国道168号五條新宮道路

【対象区間:十津川村大字七色~大字平谷((仮称)十津川道路Ⅱ期)】

### (2) 議事概要

#### ○検討会規約について

検討会規約の改正について了承を得た。

#### ○災害危険性の確認結果について

奈良県が検討したルートについて、奈良国道事務所としての観点でこれまでの検討内容を改めて整理した結果、災害危険箇所の回避等の観点から選定ルートが妥当であることを確認した。

#### ○施工時の安全性の確認結果について

施工時の安全性の確保状況を確認するとともに、トンネル補助工法等の必要な対策工、今後調査・検討が必要となる事項について確認した。

### <委員からの主な意見>

- 用いている用語(テクニカルターム)の再整理について検討してもらいたい。
- 桑畑地区現道接続部について、これまでの災害リスク抽出箇所と今回の抽出箇所の関係を分かりやすく整理してもらいたい。また、調査の進展を踏まえて、対応を考える必要のある災害リスクと、考えなくともよい災害リスクに整理してもらいたい。
- 3号トンネルと想定される地すべりとの位置関係を断面図に整理してもらいたい。
- ボーリング結果等を活用し、深度に関する情報を断面図として整理してもらいたい。特に岩盤クリープと緩み領域については、深さ方向の情報を整理しておく必要がある。
- 桑畑地区はなるべく切り土しないように、トンネル坑口を前に出すことを引き続き検討し

てほしい。

- 2号トンネル終点側坑口について、岩盤クリープを除去するのか、斜面对策とするのかは、今後の詳細調査の結果を踏まえ、引き続き検討してもらいたい。
- 桑畑地区のランプについて、曲率を小さくすることで坑口の前出しや切り土を減らすことも可能になると思われる。検討区間の国道168号における大型車両の走行実績などにより、道路構造令に基づく設計車両の整理をお願いしたい。
- 昨年の高知自動車道の災害事例も参考に、橋梁のクリアランスについて検討をお願いしたい。
- 災害リスクに対する考え方は今回の資料のとおり、妥当であるという解釈でよいと考えるが、調査・設計が進展した段階で整理された資料を確認したい。

以 上